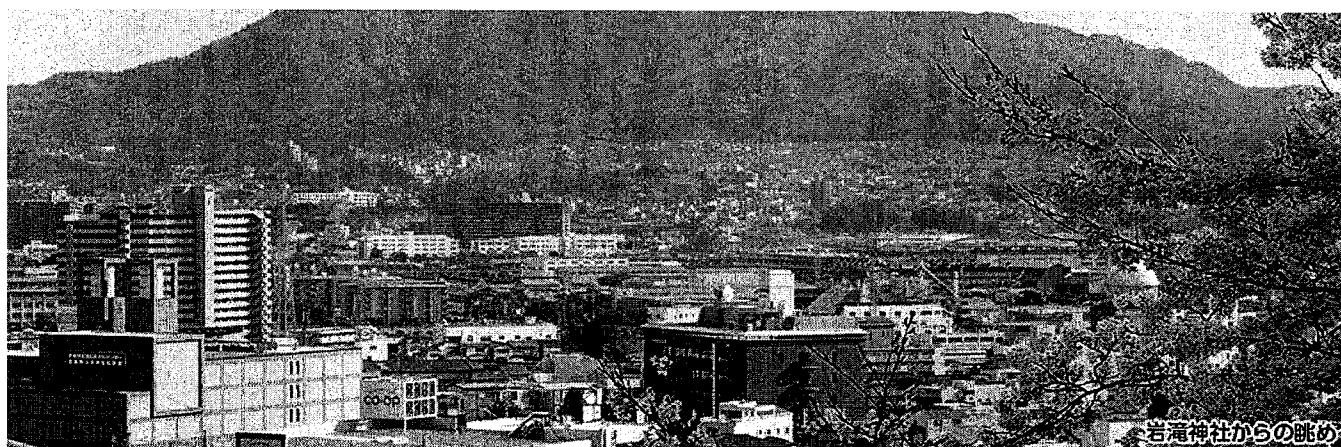


区の魅力と活力を推進するための  
アクションプラン  
【素案】



令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）

令和2年3月

広島市安芸区

# 目次

<b>1</b>	<b>アクションプランの策定に当たって</b>	
(1)	アクションプラン策定の趣旨	1
(2)	計画期間	1
(3)	アクションプランの位置付け	1
<b>2</b>	<b>安芸区の現状と課題</b>	<b>2</b>
<b>3</b>	<b>安芸区のまちづくりの方向性</b>	<b>4</b>
	【主な取組】	
	まちづくりの方向性①	4
	まちづくりの方向性②	9
	まちづくりの方向性③	11
	まちづくりの方向性④	18
<b>4</b>	<b>計画の推進に当たって</b>	<b>20</b>

# 1 アクションプランの策定に当たって

## (1) アクションプラン策定の趣旨

広島市には八つの行政区があり、区によって人口、地勢、産業構造、地域資源、歴史・文化などに違いがあり、地域が抱える課題も様々です。

安芸区では、区役所が区民に身近な行政窓口の役割を担うとともに、安芸区まちづくり支援センターを中心に、地域の特色を生かしながら、区民のみなさんの思いをより反映したまちづくりを進めることにより、住みやすさ・暮らしやすさを実感できるまちの実現を目指しています。

そのためには、区民のみなさんによる主体的なまちづくりの推進も必要不可欠になります。

そこで、区民のみなさんと区役所等がともに安芸区の今後のまちづくりの方向性を共有しながら、これまで以上に住民主体のまちづくりに取り組んでいくため、本アクションプランをまとめました。

また、広島市では、200万人広島都市圏構想を掲げ、経済面や生活面で結び付きのある近隣市町との連携や交流によって、誰もが“住み続けたい”“住んでみたい”まちの実現を目指しています。安芸区においても、府中町、海田町、熊野町及び坂町を始めとした東部地域との連携や交流に積極的に取り組み、東部地域全体の活性化に貢献する取組を推進します。

## (2) 計画期間

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間とします。

## (3) アクションプランの位置付け

本アクションプランは、第6次基本計画に掲げる「区における地域住民を主体としたまちづくり活動の充実」及び「まちづくりの方向性」を区民のみなさんと行政が協働して実現していくための計画として策定します。

## 2 安芸区の現状と課題

### ○ 特性について

- (1) 位置は、広島市東部にあり、府中町、海田町、熊野町及び坂町と境を接し、住民相互の交流や経済面、生活面での結び付きが深い。
- (2) 自然は、岩滝山や呉娑々宇山、水ケ丸山、小田山、鉾取山、絵下山などの山々に囲まれ、北東部から南西部にかけて瀬野川が貫流するなど、区民に憩いと潤いを与える豊かな自然環境を有している。
- (3) 地勢は、面積の約7割を山林が占めており、山の斜面まで住宅が折り重なるように建ち並んでいる。船越地区や矢野地区などの平地部でも、幹線道路をそれると道路が狭あいで、住宅がひしめき合うように建っている。瀬野及び矢野の両地区では、山間部を切り開いた大規模な住宅団地が造成されており、それぞれ新しいコミュニティが形成されている。
- (4) 交通は、本市都心部と東広島市方面を結ぶ国道2号及びJR山陽本線が、また、本市都心部と呉市方面を結ぶ国道31号及びJR呉線が通っている。
- (5) 人口は、約8万人と8区の中で最も少ない。年齢別では65歳以上の高齢者の割合が年々増えており、高齢化率は全市平均を上回り、8区中3番目に高い。
- (6) 産業は、他の区と比較して、工業や建設業などの第2次産業従事者が多く、また、海田湾沿いの埋立地には工業団地や流通団地が形成されており、経済情勢に応じて製造品出荷額や商品販売額等が増減するが、近年はいずれも増加傾向にある。

### ○ 地域資源について

- (1) 瀬野川は、熊野川や畑賀川などの支川ともども、安芸区を特色付ける自然資源である。河川敷への遊歩道の整備もあいまって極めて親水性が高く、日頃からウォーキングや、ピクニック、水鳥や水生昆虫等の観察などで多くの市民が憩う場となっているほか、中野・中野東地区では住民自らが桜や芝桜を植栽し、維持・管理を行うなど、自然環境を生かした良好な景観・風致を形成している。また、河川敷広場では祭りや花火大会等が開催され、地域コミュニティの拠点として活用されている。

- (2) 区民まつりや区民スポーツ大会など全区民を対象とする文化・スポーツイベントは、旧4町村（船越町、瀬野川町、熊野跡村、矢野町）の地域住民が交流を深め、区民としての連帯意識を醸成する場となっている。
- (3) 瀬野川にほぼ沿うように、江戸時代の昔、京都と九州を結んだ『西国街道』が通っており、沿道には由緒ある神社仏閣などの史跡が点在するなど、郷土の歴史をうかがい知ることができる。

#### ○ 身近な課題について

- (1) 高齢化の進展に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しており、清掃や買い物、ごみ出しなど日常生活面での支援のほか、災害時における避難支援の取組等が重要な課題となっている。
- (2) 町内会・自治会その他地域団体では、担い手の高齢化や慢性的な人材の不足に直面しており、持続的・継続的な活動が困難になりつつある地域団体が増えている。
- (3) 買い物先の大規模店舗志向やインターネット販売の活用、後継者不足等により、地域では商店が減っており、交通手段を持たない世帯、インターネットを利用しない世帯等が買い物難民化しており、日常の暮らしに大きな不便が生じている。また、こうした商店は、商品流通のみならず、地域のにぎわいづくりの面で果たす役割が小さくないことから、商店の減少は地域コミュニティの衰退に直結する問題として有効な対策が求められている。
- (4) 山々に囲まれた安芸区では、猪や鹿、猿などにより農地が荒らされる被害が続出しているほか、住宅街にも出没しており、園児・児童を始め住民の安全を脅かす存在として大きな社会問題となっている。
- (5) 少子高齢化や核家族化の進展、集合住宅の増加等による新旧住民の混在などにより、世代や地縁の異なる住民間の交流が乏しくなっており、地域コミュニティの維持が困難になっている。

### 3 安芸区のまちづくりの方向性

安芸区では、地域の課題解決や地域の魅力と活力の向上に資する区民のみなさんの主体的かつ継続的な活動を効果的に支援することによって、地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりの推進に取り組みます。

ここでは、安芸区の現状や、区のまちづくり懇談会などでみなさんからいただいた意見を踏まえ、安芸区の四つのまちづくりの方向性と主な取組をまとめています。また、区のまちづくり懇談会で話し合った、住民のみなさんが主体となって取り組む活動についてもご紹介します。

#### 【主な取組】

#### まちづくりの方向性① ひとを育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり

【概要】 まちづくりの担い手や子育て支援体制の確保、防災・防犯力の強化などの地域課題の解決に取り組み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくりを進めます。特に、中山間地では、定住の促進などにより、地域コミュニティの活性化を図ります。

#### 継続 里山あーと村ふるさと起こし（阿戸地区）

自然豊かな阿戸地区において、地域住民と参加者が交流しながら、農作業・森づくりなどを体験し、里山の再生や阿戸の地域づくりを推進する。

#### 継続 阿戸地区活性化事業（阿戸地区）

少子高齢化など様々な課題を抱える阿戸地区の活性化を図るため、平成26・27年度に実施した地域住民によるワークショップを踏まえた「阿戸地区の新たなまちづくりプラ

ン」を取りまとめた。このプランに盛り込まれた活性化策を試行的に実施しながら課題を整理し、組織づくりなど本格的な実施に向けて地域を支援していく。

**継続** 矢野にぎわいづくり（矢野地区）

「やの交流プラザ」は、JR矢野駅自由通路の整備にあたり、地域住民によるワークショップの意見を取り入れ、展示スペース等の情報発信機能を備えたオープンスペースとして整備し、平成21年1月18日に供用開始した。この施設を活用し、地域の情報発信や交流イベント等を実施する。

**継続** 瀬野川健康ウォーキング（区全域） ※方向性②、④に再掲

安芸区では瀬野川河川敷にウォーキングコースが整備されており、瀬野川の豊かな自然の中でウォーキングを楽しむ抜群の環境に恵まれていることから、瀬野川河川敷でウォーキング大会を実施することにより、区民の健康を増進し、健康づくりへの意識の向上を図るとともに、地域コミュニティ活動を支援する。

**継続** 健康で活力ある地域づくり「はたか健康塾」（畑賀地区）

住民一人ひとりが不安なく、いつまでも元気で自立した生活を送ることができるよう、「はたか健康塾」を立ち上げ、健康講座や料理教室等の開催を通じて、心身の健康増進のための活動や生きがいづくりを推進する。

**継続** 協同労働「里山ワッショイ」（畑賀地区）

安芸区畑賀では宅地化が進み新たな若い世代も増える一方、高齢化に伴い、田畑や山林の管理が困難なケースや暮らしの困りごとの増加、町内会未加入世帯など地域の関係づくりに課題がある。それらの課題を解決することを目的にして各種事業を行う。

**継続** 防災まちづくり事業（区全域）

平成26年8月20日以降に広島市に寄せられた寄付金をもとに「防災まちづくり基金」が設置され、この基金を活用し、防災研修会の開催やわがまち防災マップの作成支援を行い、地域の防災まちづくり活動の促進等を図る。

**新規** 防災まちづくり事業（矢野地区、上瀬野地区）

平成26年8月20日以降に広島市に寄せられた寄付金をもとに「防災まちづくり基金」が設置され、この基金を活用し、モデル地区（矢野地区、上瀬野地区）で、防災リーダーの養成、防災訓練の実施、防災受信機の設置、Webカメラの設置を行い地域の防災まちづくり活動の促進等を図る。

**継続** 安全なまちづくりの推進事業（区全域）

市民、事業者及び行政が連携・協働して犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに取り組み、安全・安心な地域社会の実現を図る。

**継続** 交通安全運動啓発活動（区全域）

交通安全意識と交通マナーの向上を図るため、交通安全街頭キャンペーンや自転車マナーアップキャンペーンを実施する。

**継続** 高齢者地域支え合い事業（区全域）

地域包括支援センターがコーディネーターとなり、小学校区を基本として、民生委員や地区社会福祉協議会、町内会・自治会、単位老人クラブといった様々な活動主体の連携強化及び見守り活動情報野一元化・共有化を図ることができるネットワークを構築し、見守



り活動を基本に高齢者の活動・交流の場づくり、生活支援サービスへのつなぎなど、ともに支え合う地域づくりを推進する。

**継続** 認知症施策の推進（区全域）

認知症高齢者の増加を見据え、症状・容態に応じた適切な医療・介護サービスの提供とともに認知症の人とその家族を支えることを目的として、「認知症サポーター養成講座」を開催。また、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等が気軽に集い、相互交流を図るとともに、専門職による相談・助言等により、認知症の人とその家族の孤立化を防止し、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進めるため、「認知症カフェ」の取組を支援する。

**継続** 介護予防・日常生活支援総合事業（区全域）

高齢者一人ひとりが生き生きと暮らし、住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしを続けるまちを実現するため、日常生活の場で医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を一体的に提供する仕組み（地域包括ケアシステム）の一つとして実施。総合事業は、これまでの介護事業者によるサービスの提供に加え、地域住民やボランティアによる多様なサービスを提供するとともに介護予防の自主的な取組を支援する。

**継続** 地域子育て支援拠点事業（区全域）

子育て家庭の親と子どもがいつでも気軽に集い、相互交流を図るとともに、子育てについての情報交換ができる場を設置することにより、子育て家庭の孤立化を防止し、保護者の子育てに対する不安や負担感の軽減及び地域における子育て力の向上を図ることを目的として実施する。

新規

安芸地区親子交流・体験事業（船越地区） ※方向性②に再掲

船越地区には子どもの遊び場や、親同士が気軽に交流できる場、自然体験ができる場が少ないため、交流機会を求める子育て世代が子とともに集える拠点施設を確保するとともに、岩滝山や地区内の休耕田をフィールドに自然体験を実施することにより、地域の絆を深め、活性化を図る。

継続

住民の地域デビュー支援事業“健康麻雀&料理教室”（中野東地区）

※方向性③に再掲

毎年恒例の町内行事への参加者の固定化・マンネリ化や、引きこもりがちな高齢者の増加等といった問題を解決するため、健康麻雀や料理教室を開催し、シルバー世代等の地域デビュー支援や住民同士の交流の機会を創出する。

継続

地域デビュー支援「津村・健康サロン」（健康麻雀&歌声健康クラブ）

（中野地区） ※方向性③に再掲

健康麻雀や歌声健康クラブ（合唱）を開催し、高齢者が外へ出るきっかけを作り出すことでシルバー世代等の地域デビューを支援し、また、日常的な交流の場を創出することで地域コミュニティの活性化を図る。

継続

矢野の家（矢野地区）

フリースペース「矢野の家」で、子どもの遊び場、子育て学習会、健康講座、高齢者体操教室、子ども服の交換会、料理教室等、地域住民とともに、医療と生活、両面から支えあえる地域とするための活動を行う。

## まちづくりの方向性② 豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくり

【概要】 岩滝山や蓮華寺山、鉾取山、絵下山などの山々や瀬野川の水辺などの豊かな自然を保全・活用し、区民が身近に緑や水に親しむことのできる環境づくりに取り組み、豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくりを進めます。

### 継続 市民が親しむ豊かな絵下山（区全域）

絵下山を活用して、絵下山の自然や魅力に直接触れるきっかけをつくり、絵下山を愛する人材を育成していくことにより、自然と共存するやすらぎのある空間を継承していく。

### 継続 見ぬ友と心結ぶのろしりレー（区全域）

絵下山でのろしりレーを開催することにより、絵下山の自然や魅力を発信するとともに、絵下山を愛する人材を幅広く育成する。

### 継続 ハイキングコースの整備（区全域）

安芸区には、身近に多くの山々が連なり、「安芸アルプス」と親しまれている。これらの山々にハイキングコースを整備し、地域の魅力資源として活用することにより、身近な里山として親しみを感じることでできるまちづくりを進める。

### 継続 瀬野川を活かそうプロジェクト・ふるさと散策の推進（区全域）

※方向性③に再掲

安芸区を流れる瀬野川とその流域の地域資源を活用し、地域課題を踏まえた区民主体のまちづくり活動を推進することにより、地域環境を整備するとともに、地域の活性化を図

る。また、活動を通じて住民相互のつながりを強めるとともに、人材や団体の発掘・育成を図る。

継続

瀬野川健康ウォーキング（区全域） ※方向性①、④に再掲

安芸区では瀬野川河川敷にウォーキングコースが整備されており、瀬野川の豊かな自然の中でウォーキングを楽しむ抜群の環境に恵まれていることから、瀬野川河川敷でウォーキング大会を実施することにより、区民の健康を増進し、健康づくりへの意識の向上を図るとともに、地域コミュニティ活動を支援する。

新規

安芸地区親子交流・体験事業（船越地区） ※方向性①に再掲

船越地区には子どもの遊び場や、親同士が気軽に交流できる場、自然体験ができる場が少ないため、交流機会を求める子育て世代が子とともに集える拠点施設を確保するとともに、岩滝山や地区内の休耕田をフィールドに自然体験を実施することにより、地域の絆を深め、活性化を図る。

### まちづくりの方向性③ ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり

【概要】 かつての西国街道沿いの史跡や伝統行事を始めとする歴史・文化資源の保存・活用・継承に取り組む。また、住民が地域を愛する心を育み、多様性を受け止め、互いに認め合い、交流することができるまちづくりを進めます。

継続 花と緑と音楽のまちづくり（区全域） ※方向性④に再掲

区内の花づくり活動を行う団体等を育成・支援し、活動の輪を広げていくことにより、花と緑にあふれるまちづくりを進める。また、“花と緑”に“音楽”を加え、区民の花づくりや音楽など文化に親しむ機運を醸成し、花と音楽にあふれるまちづくりを進めていく。

継続 ふなこしまチオコシ（船越地区）

船越地区において、連合町内会、公民館及び各種地域団体等と連携し、旧船越町の町花で住民にも親しまれてきた誰故草の生育・普及や、江戸時代から伝わる伝統的な岩瀧神社の秋祭りの保存・継承といった、これまで地域住民が主体となって取り組んできた地域活動の新たな担い手の発掘・育成に取り組み、船越地区のコミュニティ活性化を図る。

継続 高知県安芸市との交流（安芸区、安芸市）

高知県安芸市とは、同じ「安芸」という名の自治体（行政区）であることを縁として、お互いの長所を生かした実質的な交流を行う。

継続 瀬野川を活かそうプロジェクト・ふるさと散策の推進（区全域）  
※方向性②に再掲

安芸区を流れる瀬野川とその流域の地域資源を活用し、地域課題を踏まえた区民主体のまちづくり活動を推進することにより、地域環境を整備するとともに、地域の活性化を図る。また、活動を通じて住民相互のつながりを強めるとともに、人材や団体の発掘・育成を図る。

**継続** 安芸区歴史散歩（区全域）

安芸区には、地域が大切に育み保存してきた歴史的資源（寺社、古民家、無形文化財等）が数多く存在する。これらの魅力を地域の内外に発信することにより、安芸区への来訪者の増加を図るとともに、地域住民に「ふるさと」として親しみを感じ、愛着を持つことのできるまちづくりを進める。

**継続** 秋祭りでふなこしまチオコシ（船越地区）

毎月10月第3土曜日に岩瀧神社で開催される秋祭りにおいて、若手有志と関係団体（関係者）等が連携し、神楽殿での音楽ライブやプロジェクションマッピング、古くから伝わる「竹浦の鬼」にちなんだ鬼の扮装・行列など新たなプログラムを実施することにより、秋祭りから遠ざかりつつある若者や子どもたちを呼び込み、祭りの魅力アップと往時大勢の人でにぎわった秋祭りの活気につなげる。

**継続** 瀬野川東中学校区子どもの自立・親子の絆づくりプロジェクト（瀬野地区）

子どもの自立への誓いと保護者の子どもへの想いを共有し、親子で協力して花樹を植え、育てることで、親子の絆を強めるとともに、まちを花でいっぱいにして地域の魅力を高める。

継続

#### 瀬野川公園サクラの森づくりプロジェクト（瀬野地区）

平成26年に瀬野川公園に植樹した約200本のサクラを計画的に保守管理して成長させ、瀬野川公園を新たなサクラの名所とすることで瀬野地区のにぎわいを創出するとともに、地域住民による保守管理作業を通じて地域の連帯感を深め、コミュニティの活性化を図る。

継続

#### 矢野<sup>ちようさい</sup>頂載の維持保存、運行及び継承事業（矢野地区）

江戸時代から残る矢野頂載の大規模修繕を行い尾崎神社秋季大祭で運行・活用させるとともに、頂載に関するパンフレット・ビデオを作成して伝統継承のための研修会や広報活動を行うことで、矢野の歴史や文化に多くの人に触れてもらい、次世代への伝統継承及び矢野町内外への町の魅力発信につなげる。

継続

#### 矢野町名所旧跡ブラッシュアップ事業（矢野地区）

矢野町の名所・旧跡のPRを通じて、地域住民に知ってもらうことで郷土を愛する人を育てていくとともに、地区外の住民に対して矢野町の魅力を発信し、地域の活性化につなげる。

新規

#### 畑賀神楽保存継承事業（畑賀地区）

約200年前から伝わる「畑賀神楽」という伝統文化の保存・継承活動を継続的に行うため、損傷の著しい大蛇や刀、太鼓などを新調又は修繕し、郷土の文化を伝え広めることにより、地域の活性化を図る。

新規

「瀬野の歴史と文化」の伝承（種田山頭火句短冊の更新と活用）（瀬野地区）

上瀬野一環田地区では、俳人「種田山頭火」でまちおこしに取り組んでおり、各世帯が山頭火の句を記した短冊を軒下等に吊るしているが、短冊の痛みが激しく、句が読めないなど、活動の継続に支障を来していることから、これを更新するとともに、取組をさらに活性化する。

継続

みどり坂産『元気缶詰』色々な体験を詰め込んで！（瀬野地区）

子どもたちを核としながらそれに大人たちが関わり、団地の魅力や課題を住民一体となって掘り起こすプラン「みどり坂産『元気缶詰』—色々な体験を詰め込んで！」を作成し、子どもの自主性や社会性の教育に結びつけるとともに、子どもたちを介して、親たちにも町内会活動へ関心を持ってもらい、世代を超えた交流を図る。

継続

阿戸町奥ノ谷・<sup>ほうき</sup>伯耆ノ谷の棚田を利用した花壇づくり事業（阿戸地区）

地区内にある、耕作放棄され雑草が繁茂している棚田を再整備し、花壇づくりを実施する。除草や花壇づくり、種まき等の作業を通じて、住民同士で一致団結して地域の課題を解決しようとする雰囲気醸成するとともに、これを維持する作業を通して住民同士の交流や多世代の交流を促進し、美しい景観による地域のイメージアップと地域コミュニティの活性化を図る。

継続

住民の地域デビュー支援事業“健康麻雀&料理教室”（中野東地区）

※方向性①に再掲

毎年恒例の町内行事への参加者の固定化・マンネリ化や、引きこもりがちな高齢者の増加等といった問題を解決するため、健康麻雀や料理教室を開催し、シルバー世代等の地域デビュー支援や住民同士の交流の機会を創出する。



継続

地域デビュー支援「津村・健康サロン」（健康麻雀&歌声健康クラブ）  
（中野地区）※方向性①に再掲

健康麻雀や歌声健康クラブ（合唱）を開催し、高齢者が外へ出るきっかけを作り出すことでシルバー世代等の地域デビューを支援し、また、日常的な交流の場を創出することで地域コミュニティの活性化を図る。

継続

子どもたちの思い出づくり取り組み事業（瀬野地区）

子どもたち自身の企画によるスポーツ交流会や、高齢者の支援による昔遊び競技等を実施し、子どもたちに楽しい思い出を作ってもらおうとともに、幼児から高齢者まで幅広い参加を得て、世代を超えた交流を図る。

継続

“映画鑑賞会”& 3世代交流会（中野東地区）

映画鑑賞会を開催するなど、子どもから高齢者までが一堂に会する機会を創出し、3世代交流の促進や若い世代における町内会の担い手の発掘を図る。

継続

衰退する中山間大山地区を歴史的資源を活用し夢を追う地域活性化事業  
（瀬野地区）

人口減少社会への挑戦として、古代山陽道から江戸時代の西国街道への古の歴史街道と、弥仙谷を中心とした自然景観を復活させる。歴史資源の整理や、これにQRコードを付した案内板標識の作成、さらには植樹等を実施して、地域の魅力を向上させるとともに、住民同士の交流を促進する。

**継続** 安芸区民まつりの開催（区全域）

区民の連帯意識の高揚を図るために、区民総参加の「安芸区民まつり」を実施し、明るく住みよいまちづくりに寄与する。

**継続** 安芸区民スポーツ大会の開催（区全域）

安芸区内のスポーツの振興を図るとともに区民相互の親睦を深め、潤いのある区民生活の形成に寄与するため、複数競技のスポーツ行事を行う。

**継続** 子ども会活動への支援（区全域）

少子化や核家族化、ライフスタイルの変化などに伴い、子どもたちの成長に欠かせない様々な体験・交流活動の機会が乏しくなるとともに、地域のつながりが薄れつつある中で、子ども会の存在意義はますます高まっていることから、子ども会育成指導員の設置や子ども会が行う事業への補助金の交付など、子ども会活動への支援を行う。

**継続** 母親クラブ活動への支援（区全域）

子どもたちの健全育成を願って、児童館と有機的な連携をとりながら、地域ぐるみでボランティア活動をする「母親クラブ」に対して、補助金の交付など活動を支援する。

**継続** 地域女性会活動への支援（区全域）

各地域女性会は、地域の女性の資質の向上を図るとともに、新しいコミュニティづくり活動を推進することにより、平和で文化的な社会づくりに寄与していることから、補助金の交付など女性会活動を支援する。

継 続

青少年健全育成連絡協議会への支援（区全域）

世代を超えたふれあいと文化の総合祭典として、行政・公益法人等が互いに協力して取り組み、区民が明るく生き生きと参加できる事業を行い、青少年の健全育成を図る。

#### まちづくりの方向性④ 東部地域をつなぐ活力とにぎわいのあるまちづくり

【概要】 隣接する府中町、海田町、熊野町及び坂町を始めとした東部地域との連携を一層促進させ、住民相互の交流や経済面、生活面での結び付きを一層深めることにより、共に活力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

継続 花と緑と音楽のまちづくり（区全域） ※方向性③に再掲

区内の花づくり活動を行う団体等を育成・支援し、活動の輪を広げていくことにより、花と緑にあふれるまちづくりを進める。また、“花と緑”に“音楽”を加え、区民の花づくりや音楽など文化に親しむ機運を醸成し、花と音楽にあふれるまちづくりを進めていく。

継続 となり町との出会いと交流づくり（安芸地区）

安芸地区（安芸区、府中町、海田町、熊野町、坂町）は経済面や生活面での結び付きが深いことから、行政区を越えて住民相互の交流を促進することで、安芸地区の連帯感の一層の醸成及び安芸地区の魅力と活力とにぎわいのあるまちづくりを推進する。

継続 瀬野川健康ウォーキング（区全域） ※方向性①、②に再掲

安芸区では瀬野川河川敷にウォーキングコースが整備されており、瀬野川の豊かな自然の中でウォーキングを楽しむ抜群の環境に恵まれていることから、瀬野川河川敷でウォーキング大会を実施することにより、区民の健康を増進し、健康づくりへの意識の向上を図るとともに、地域コミュニティ活動を支援する。

新規

マルシェでふるさとまちづくり（安芸地区）

季節にあわせ、安芸区管内の農業生産者の生産した農産物を、展示及び販売し、食と農への理解を深めてもらうとともに地産池消を推進する。

## 4 計画の推進に当たって

### (1) 推進体制

本アクションプランを推進していくためには、行政だけでなく、住民や地域団体、企業、NPOといった地域全体で取り組む必要があります。このため、エリアマネジメントなど効果的な手法によって、様々な主体との連携を図りながら、効率的にまちづくりを推進します。

### (2) アクションプランの進行管理

本アクションプランに掲げる取組の実施状況の点検及び進行管理を行うため、安芸区コミュニティ交流協議会等に毎年報告するとともに、区のホームページなどで公表します。